

試練を乗り越えて

北海道えりも高等学校長 佐藤 健

学校は明日より来年1月13日(水)まで冬季休業に入ります。コロナ禍による様々な対応に翻弄され大変な1年間ではありましたが、今年も残すところあと1週間となりました。今年はPTAをはじめとする多くの行事がなくなりました。コロナ禍の中をかいくぐり、社会では生きる糧として経済活動が必要であり、学校では生きる力の育成として教育活動が必要です。常日頃、行事や部活動等、勉強ではない特別活動においても、生徒の中で多くの生きる力が芽生え花咲いています。生徒達の成長を支えるために、感染症対策が可能な範囲で教育活動を精選し、最大限の成果を収めることが求められます。今年度は保護者の皆様にお会いする機会がめっきり減ってしまいましたが、感染症対策をはじめ、教育活動の様々なことにご理解とご協力を頂きましたことに厚くお礼申し上げます。

さて、今年のえりも高生徒達は、様々な行事が中止、延期、縮小となってもくさらず、与えられた学習環境で元気に頑張ってくれました。学業に対する直向きさが大変立派であったと思います。

3年生は4～5月の臨時休業時も担任の先生との個別面談を通して、それぞれの進路活動を進めていました。10～11月の間は就職や推薦進学的面接準備で、一人で10回を超える練習をこなす等、生徒も教師も忙しい毎日でした。現在、就職と専門学校は全員内定・合格を頂き、短大・大学推薦受験の生徒も私立・国公立含めて多数合格しております。この後、漁研受験者が結果待ち、大学の一般入試を受ける生徒数名が志望校合格を目指しチャレンジしていくことになります。就職・進学を目前に、進路決定者も未決定者も一層、体調管理に気を付けなくてはならない時期です。お子様への万全の注意とサポートをよろしくお祈りします。

2年生は11月第1週に見学旅行に行っていました。旅行先は感染の懸念から2年生保護者の皆様にもアンケートを取り、関西方面への旅行は断念して道南方面への旅行に切り替えました。生徒達は残念でしたが、素直に状況を受け入れてくれて、純粹

に北海道の良さにふれ楽しんでいただきたいと思います。自然や歴史、風土やアイヌ文化等を知り、一緒に旅行する中で想像していた以上に深い感性でそれらを捉えていると感じました。旅行後、道内で再び感染が拡がり始め、正直間一髪の間がありました。日胆地区でもまだ実施できていない高校が半数近くある中、無事に実施できて良かったと思います。細心の準備をして生徒を送り出して下さった保護者の皆様に感謝いたします。

1年生は入学直後から5月までの臨時休校から明けて、勉強追いつけ追いつけで大きな行事もなく、まだ本来のえりも高校を知りません。マスク姿で先生方の顔や表情も完全にはわからず、校長は怖い人だと思っていないでしょうか？高校に入学して心配なことは多々あったことと思いますが、おそらく十数年ばかりの経験による想像力で周りを信頼し、自分達なりの目標を掲げて学校に付いてきていると思います。1年生は何事もこれからで、勉強面含め色々な課題もありますが、全体的には高校ではしっかり勉強しないとダメだから頑張るという意図を感じます。今後努力を継続させ、生徒の成長の様子を学校とご家庭で情報交換しながら、進路に向けキャリア発達を促していきたいと思っております。

道の集中対策期間が来年1月15日まで延長となりました。本校でも3年生の大学入学共通テストの受験を控え、休業明けの教育活動を滞りなく実施するためにも、休業中の生徒一人一人の感染症対策が重要となります。つきましては、緊急時の対応を含めて、今後も引き続き学校ホームページ上でお知らせしていきますのでご確認下さい。生徒の学びを継続するためにも、趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

気をそらせない日々が続いておりますが、皆様平穏に年を越されますことを心から願っております。1年間のご支援・ご協力、本当にありがとうございました。



避難訓練を行いました

前期末考査最終日の9月4日(金)、「避難訓練」を実施しました。今回は火災対応のための訓練でした。各教室で担任の先生から諸注意を受けたあと、火災報知器と放送を受けて、避難を開始しました。



今回は教職員にも火元を知らされず、火元の探索と対応を含めた訓練になりました。避難後は、消火器による消火活動の訓練も行われ、あらかじめ選ばれた生

徒が代表して訓練を行いました。

火災も地震も、いつ何時起きるか分かりません。

日頃から災害に対する意識を

高め、災害が発生したら的確に行動できるよう、心掛けてほしいと思います。ご家庭でも災害時の対応やルールを決めておくなど災害に備える、いいきっかけになれば幸いです。



紙上採録 講演会での学び

11月13日、浦河警察署から、刑事・生活安全課の磯野真吾先生にお越しいただき、薬物乱用と防犯についてご講演い



ただきました。ここでは、紙幅の都合上、不審者に対する対応の部分を抜粋してご紹介します。

■ ご講演から

浦河警察署の管内で、不審者の情報が入っています。道を歩いているときに、すれ違いざまに襲われたら、大声を出して逃げてください。立ち向かっていくと、相手が逆上して襲い掛かってくることもあります。近くの人たちに助けを求め、警察に通報してください。

家にひとりでいるとき、知らない人に家に入られて襲われたり、物を盗まれたりするケースもあります。知らない人が来たら、名前や連絡先を聞いて、後で保護者から連絡する、と伝えてください。また、

家の中に自分しかいない状態でも、「今、家のなかは、ひとりじゃない」と相手に思わせるようにしてほしいと思います。

■ Q&A

Q.襲われたとき、手をつかまれたらどうすればいいですか？

A.思い切り手を振りほどいて逃げてください。立ち向かっていったら、相手が逆上して襲い掛かってくることもありますから、逃げましょう。実際、女性の方でつかまれたり、後ろから羽交い絞めにされることもあります。そんなときは、相手の足を蹴るなどしてダメージを与えて、相手がひるんだときに逃げる、ということを覚えておいてください。



ただ、急につかまれたらびっくりして動けなくなることもあります。そういうときは大声を出して、まわりに自分が危ない状況だということを伝えてください。

雑巾ご提供のお願い

今年度、本校では、校内の美化活動（特に清掃活動）に力を入れております。そのため、毎年お願いしております雑巾の在庫が僅少になってきました。つきましては、他でもお願いしておりますが、雑巾をご提供いただきたく存じます。お忙しいなかとは存じますが、ご理解・ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。